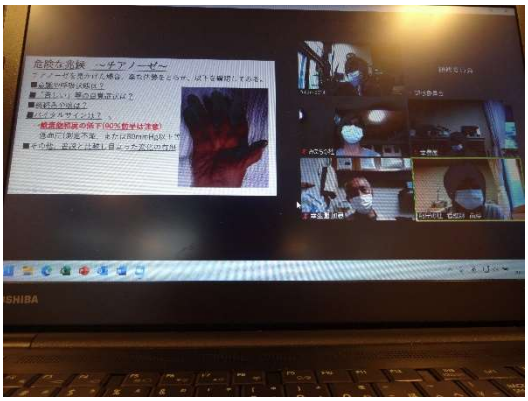
西胆振地域連携研修･法人内研修　実施報告書

研修名	非常勤ケアワーカー研修①

対象者	非常勤（パートタイム）で働く介護職員
日　程	令和４年８月 16 日（火）
会　場	ＺOOM 研修

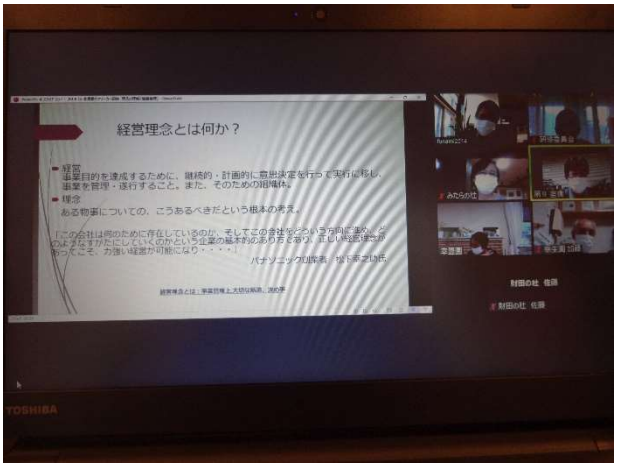
研修のねらい

これまでの勤務経験の中で習得した知識や技術を改めで再確認する機会とし、介護職員として更に実践力を高めることで更なる安全・安心の介護の提供に繋がることを目的とします。また、参加者個々が、仕事の内容や状況を相互に情報交換し、互いの理解を深める中で自己や仕事に対する悩みや戸惑いを払拭し、仕事に対する姿勢、仕事へのモチベーションを高める機会とします。



研修プログラム

時　間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
9:30～10:30（60 分）	理念と職業倫理	講義演習	クア 453） 室橋生活相談員	理念の理解、援助者の基本態度や秘密保持、利用者の主体性、人権の尊重、専門性の向上など介護職員として必要な職業倫理について学びます。
10:40～12:00（80 分）	高齢者の疾病と緊急時の対応について	講義演習	地特　財田の杜） 桑原看護師	いざという時に慌てず冷静に対応できるよう高齢者に多くみられる疾病について理解を深め、緊急時の対応と医療行為について学びます。
13:00～14:30（90 分）	身体的拘束等の適正化と高齢者虐待防止	講義演習	GH みたらの杜） 白井施設長	身体拘束等の適正化と高齢者虐待防止について、その背景と改正点について学び、介護の専門職として適切な介護サービスの視点を学びます。
				※研修参加者の関係で１科目研修を縮小し開催している。



研修の様子

各事業所に勤務する非常勤ケアワーカーや他職種職員計８名が参加した。法人理念や職業倫理について改めて確認をすると共に、身体拘束等の適正化と高齢者虐待防止については、高齢者虐待防止法の基礎知識や不適切なケアのとらえ方等を学んだ。また緊急時の対応についてでは、いざという時に冷静な対応ができるよう、基礎知識・技術の理解を深めていた。